

輝き

三木市立三木特別支援学校

学校通信 No. 4

令和3年6月30日

一人一人が「輝き」、「主体的」に
活動する児童生徒の育成

小学部 ともにかがやく

中学部

- ・自分も友達も大切に
- ・自分の気持ちを伝えることを大切に
- ・自ら学ぶことを大切に

オリパラ事業を行いました

校長 小林 義直

6月24日(木)と25日(金)のオープンスクールにてスポーツ庁主催のオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業を行いました。密になるのを避けて、1日目は小学部、2日目は中学部と2日間に分けて行いました。内容は、パラリンピック種目のボッチャです。両日とも2名の指導者の方から丁寧にボールの投げ方からルールやゲームの楽しさをご指導いただき親子で競技しました。



参加された保護者方の感想を一部紹介します。「久々に学校での様子がみれて良かったです。ボッチャも一緒にできて楽しかったです。」(小学部)「ボッチャは初めてでしたが、誰もが楽しめる競技だと思いました。順番を守ったり、投げやすいように手伝ってくれて、私もうれしい気持ちで見させていただきました。」「本日は本当にありがとうございました。幸せな気持ちでいっぱいです。」(中学部) 感染症対策にご理解いただいた皆様のお陰で、安全で楽しい充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

夏野菜が元気に育っています



梅雨入り前に植えた野菜がしっかりと根づき、順調に育っています。栽培している野菜は、なす、きゅうり、なす、ピーマン、トマト、さつまいもです。中学部は、さつまいも以外を一人一鉢で栽培しています。子どもたちは、水やりや脇芽取りなど野菜のお世話をしながら、植物の成長を日々観察しています。花が咲いたところに実がつく不思議を感じています。

中学部では、タブレットで記録写真を撮っている生徒もいます。観察を通して、実のなる野菜の生命力のすごさを感じています。小学部では、すべて畑栽培で、クラスで協力して水やりなどのお世話をしています。ピーマンは、一時枯れかけていましたが、子どもたちのお世話により新芽が出てきているものもあります(上の写真)。梅雨明けになると、子どもたちの水やりが欠かせません。野菜の成長とともに子どもたちの成長が楽しみです。